

# ローラーカナリアとは？

## カナリアの歴史

- ・カナリアは、スズメ目アトリ科の小鳥で、アフリカ大陸の北西部にあるカナリア諸島に生息している野生カナリア（英名：ワイルドカナリー）が原種と考えられています。
- ・現地ではグリーンカナリアと呼ばれ、日本のスズメを緑色にしたような地味な羽色ですが、透明感のある美しい鳴き声を持っていたことから、500年ほど前の15世紀末に、スペインの貿易船が持ち帰り、16世紀にはヨーロッパ各地に広まったと言われています。
- ・ドイツ、イギリス、オランダそしてアメリカ等で改良が重ねられ、さまざまなカナリアの品種が作出されました。ローラーカナリアとしての改良は、18世紀のドイツで始まり、イギリス、アメリカでも改良が進められました。
- ・日本へカナリアが初めて渡来したのは、16世紀末の安土桃山時代から江戸時代初期の頃と言われていますが、各地で飼育されるようになるのは18世紀後半の江戸時代中期以降になってからと伝えられています。
- ・ローラーカナリアは、大正時代末～昭和初期の頃にイギリスから輸入されたのが始まりで、昭和12年頃に本場ドイツのメッツ系が輸入されたと言われています。
- ・ローラーカナリークラブは昭和初期に設立され、現在13地域の単位クラブが活動しています。国際ローラーカナリークラブ連盟の全国大会開催は、昭和27年1月になってからで、その後は毎年1月に京都で開催されています。

## カナリアの種類

### カナリアの種類

鳴きカナリア	ローラーカナリア（羽色は黄・緑・白など）
カラーカナリア	赤・黄・白・オレンジ・緑・茶褐・灰青など （模様のあるリザードカナリアも含む）
スタイルカナリア	巻毛・細・ヨークシャー・ ランカシャー（梵天）・ノーウィッチなど

鳴きローラーカナリアは、やや低音で深みのある鳴声を持っています。